



## コンセプト

- 一枚板の廊下や茅葺屋根の玄関、格天井など、今では再現困難な名建築。
- 松竹梅、瓢箪の透かし彫りや御影の沓脱石など細部まで意匠を凝らす。
- 格天井には尾道市立大学の学生が制作した天井画広告がならぶ。

## 施設紹介

- 58.5畳の大広間と12畳の控えの間をレンタル可。
- 映像上映会、宴会、会合、イベント等に使える。
- 施設利用にあたって飲食店仲介やオーディオ機器の貸し出し等も行う。
- 職人をはじめ、空きPスタッフなど、さまざまな仲間と共に改修を行った。





## Q. 松翠園のアピールポイントは何ですか。

戦後すぐに建てられたとは思えない贅沢な造り（16mの一枚板の廊下や格天井、趣向を凝らした下地窓など）、旧市街地の中ではめずらしい約60畳という大空間、尾道水道を見渡せる眺めです。

## Q. 今までの利用団体、利用目的は何ですか。

企業や団体、個人に至るまで色々な方に、講演会・勉強会や映画上映、マルシェ、個展などの多岐にわたる目的でご利用いただきました。

## Q. 松翠園と尾道とのつながりは何ですか。

空き家になる前は、旅人だけでなく町内会やPTAなど地元住民にもよく使われていたようで、懐かしがってくださる方も多いです。

再生の過程も、地元の小学生によるワークショップや大学生、若手の移住者の力も借りながら、一緒に作り上げてきました。尾道市立大学の卒業生の作品も飾らせていただいております。

また、天井画プロジェクトと銘打ち現在、寄付をくださった個人及び団体のロゴを天井に飾る活動もしており、尾道市立大学の日本画の学生さんを中心に、制作を手伝ってもらっています。

尾道の過去と現在が、この建物を通して繋がっていけたらなと思っております。

## Q. これからのビジョンをお聞かせください。

素晴らしい建築を大事にしつつ、色々な可能性を秘めた尾道の「みんなの大広間」として、より多くの皆様に活用され続けるよう運営していきたいと思っています。





## フォトビュー





## フォトビュー





## フォトビュー



※写真は新型コロナウイルス感染症拡大前に撮影したものです。

